

平成29年度「オリンピック・パラリンピック・ムーブメント全国展開事業」

事業実施報告書〔ワークショップ用〕

京都府テーマ

- I スポーツへの参入、自主参入の促進
- II 障害者や高齢者への理解、共生社会の形成
- III スポーツへの関心や競技力向上、スポーツボランティアへの参画
- IV オリンピック・パラリンピックに向けた京都の伝統や文化等の発信
- V 国際理解教育の推進

スポーツ庁テーマ

- I スポーツ及びオリンピック・パラリンピックの発展で確立する学び
- II マナーとおもてなしの心を備えたボランティアの育成
- III スポーツを通じたインクルーシブな社会（共生社会）の構築
- IV 日本の伝統、郷土の文化や世界の文化の理解、多様性を尊重する態度の育成
- V スポーツに対する興味・関心の向上、スポーツを楽しむ心の育成

道府県・政令市名【 京都府 】

学校名【 木津川市立上粕小学校 】

1 実践テーマ	京都府テーマ【 I・III 】・スポーツ庁テーマ【 III 】
2 実施対象者	上粕小学校 5年生（35名） 6年生（23名）
3 展開の形式	（1）学校における活動 ① 教科名（ 総合的な学習の時間 ）
4 目標 （ねらい）	「ポッチャ」についての基本的な知識について学ぶことで、障害のある人が行うスポーツについての関心をもつとともに、障害のある人たちの思いや願いを知り、共に生きていく上で、自分たちにできることは何かを考える。
5 取組内容	（1）事前学習 ①パラリンピックについて調べる。 ②パラリンピック種目について知る。 ③ポッチャについて調べる。 （2）ポッチャ体験学習 講師：大阪府立大学 片岡正教 先生 ①ポッチャについてのお話 ②ポッチャの歴史やルールなどについて知る。 ③ポッチャ体験 グループに分かれてポッチャをする。 （3）事後学習 ①ポッチャをやってみて感じたことや考えたことを話し合う。 ②感じたことなどを感想にまとめる。
6 主な成果	（1）ポッチャについて調べたり、実際にやってみたりすることで、その競技を身近に感じることができた。 （2）ポッチャは、チームのメンバー同士が互いのことを考えながら競技を行うことができ、一人一人が大切にされずすべての子が活躍できる場がもてた。 （3）ポッチャを通して、多くの人と交流したいという気持ちをもつことができた。

7 実践において工夫した点 （事業の特色）	（1）大会時期と重なったためチームに来校していただくことはできなかったが、パラリンピックで競技をしている人たちの姿を思い描けるよう、競技の様子の画像を数多く提示するようにした。 （2）南山城支援学校でポッチャに取り組んでいることを知らせ、ポッチャを通して交流してみたいという思いがもてるよう工夫した。 （3）マスコット投票と時期を近づけることで、パラリンピックについての理解が深まるように工夫した。
8 主な課題等	本年度は、内容の検討や指導者等との調整で時間を要してしまい開催時期が遅くなったので、来年度以降は、適切な開催時期に実施できるようにする。 教職員研修を行うなどして、事前学習、事後学習についても計画的に進められるようにする。 今回学んだパラリンピック種目を、継続して体験していけるような環境整備を進める。
9 来年度以降の実施予定	来年度も、ポッチャを学校で広め、パラリンピックについての理解学習を進める予定。 可能なら、他校の児童等とポッチャを通して交流したい。